

看護学雑誌 第53巻 総目次

1989年 1—12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

●特集

看護にとっての大学教育——私の大学教育論

アメリカの看護大学教育を体験して：川崎美佐子，1，26.

現場から見た看護大学教育：安酸史子，1，32.

看護における大学教育の役割：吉田滋子，1，38.

大学教育に求めたもの、得たもの：新鞍真理子，1，44.

看護大学教育と看護学——学生から見た看護大学教育：本田育久，1，50.

大事にする心——看護婦の経済観念を見直す

看護部全体での経済観念の意識づけ：三浦規，2，130.

経済観念を新人教育の中で生かすには：古屋嘉栄子，2，135.

学生の経済観念をいかに形作るか：久保成子，2，140.

「もの」を大切にすることは「ひと」を大切にすること：永田希和子，2，144.

私たちはこうやって経済観念を見直しました：梅津キミ・久米栄代・小川悦子・小林広子・宮崎千尋・小倉嘉己・西口初代・深田登志子・竹内鈴代，2，149.

先端医療で見えてきたもの——臓器移植・安楽死・体外受精をめぐる

[鼎談]臓器移植問題を通して生命と医療を考える：藤原秀・波平恵美子・杉本健郎，3，234.

[アンケート]安楽死についてあなたはどのように考えますか：訳・内布敦子，3，248.

現状認識から行動へ——日常の看護の中で「生命倫理」を考える：細野容子，3，255.

[インタビュー]体外受精で我が子を得て——岩手県立江刺病院看護婦・青木美代子さんに聞く，3，261.

新人ナースに贈る

新人ナースに贈る言葉——はじめて部署へ出る時の心構え：朝倉美由紀・中西裕美・田村茂代，4，338.

より広い視野と視点を——院内教育と自己学習を通して：嶋田幸子，4，344.

白衣がびたっと似合うまで——ぶかぶかの白衣のあな

たへ：小笠原望，4，353.

後から来る仲間のために——私の新人時代：小林美智子，4，359.

がんばれニューリーダー！——初めてチームリーダーとなる人に

たとえチームナースもどきであっても——30年の蓄積を大切にしつつ発展させよう：川島みどり，5，442.

チームリーダーをplayする4つのポイント：永井緑・長尾真由美，5，446.

リーダーの視点——6つの方向：中川英子，5，451.

ゆとりあるリーダーになるためのコミュニケーション技術：杉野元子，5，455.

ニューリーダーに贈るチーム全体の仕事の組み立て法：高橋一子，5，459.

ニューリーダーを育てる——固定チームナースングにおけるかわり：岡村絹子，5，463.

[座談会]チームリーダーはつらいよ——ヤングリーダーからニューリーダーへのメッセージ：二戸幸子・麻生智美・山口まゆみ・澤本美佐緒，5，468.

失禁看護に目を向けよう

失禁からの自立を目指して——英国の失禁問題と日本を比較して：西村かおる，6，546.

尿失禁とは何か——原因から治療まで：西沢理，6，553.

高齢者の尿失禁に関する2つの課題：並河正晃，6，560.

中高年女性の尿失禁——失禁クリニックからの報告：近藤厚生・齊藤政彦・加藤久美子・大村政治・佐井紹徳，6，568.

[講演]患者の立場からみた失禁問題と今後の展望——米国サイモンファンデーションの活動から：CHERYLE B.GARTLEY，6，573.

看護情報は生かされているか

患者から得られる看護ケアのための情報：辻和男，7，650.

事例から見た看護が生かす患者情報：中村めぐみ，7，655.

カンファレンスにみる看護の情報の検討：嶋文子・岡

田恵・原まし子・友部幸子・三木田和代・熊本裕子、7, 661.

申し送り廃止における看護情報の最低基準：温忍・岡野久恵、7, 667.

眠れぬ夜のために——患者の不眠を考える

睡眠と不眠のメカニズム：井上昌次郎、8, 754.

看護婦にできる不眠の誘因への対処：小林房子、8, 761.

眠れない時のくすりについて知ってほしいいくつかの事柄：渡辺洋一郎、8, 767.

不眠解決のための看護婦の工夫：山田繁代、8, 774.
病院の夜——夜勤専門看護婦のつぶやき：水上學、8, 779.

老人ケアの現場から

[座談会]老人ケアの最前線では——老人病院，地域におけるケアの担い手として：木下康仁・島野由紀子・田中久美子・長谷部たつ子、9, 858.

特別養護老人ホーム「シャローム」における現状と課題——施設長の立場から：高原敏夫、9, 869.

在宅老人ケアにおけるケース・マネジメントの面白さと難しさ——日野市福祉事業団新米ケア相談員の活動から：川松ゆり、9, 876.

生活の中の死——高齢者コミュニティ伊豆高原ゆうゆうの里からの報告：古澤光子、9, 883.

院内感染はいま

院内感染防止対策——血液から感染するウイルス，特にB型肝炎，AIDSについて：吉原なみ子、10, 962.

医療職者への院内感染における法的責任——B型肝炎の感染防止について：塚田敬義、10, 969.

消毒剤選択の基礎知識——院内感染予防のために：尾家重治、10, 975.

退職から復職への道

辞めていく人にどう接するか——埋れたライセンスをつくらないために：山本桂子、11, 1066.

資格を今、役立てなくては——病院への復職：桜井強子、11, 1069.

こんなところにも看護婦が——企業への復職：杉本真澄、11, 1072.

地域活動に生きがいを求めて——訪問看護事業への復職：中村美佐子、11, 1075.

第2の人生でも看護婦してます——医院への復職：中村元子、11, 1078.

私はお年寄りのためのナース——老人ホームへの復職：白石幹子、11, 1081.

[インタビュー]「看護職員需給見通し」から復職を考える：影山恵一、11, 1084.

20代看護婦の継続意識からみたタイプ分けの試み——継続型・潜在的継続型・離脱型：秋田真知子・清田

敏恵・渋谷さよ子・土屋三千代、11, 1091.

家族ぐるみの援助を考える

家族療法の考え方と実際——家族ケアに生かすために：木下敏子、12, 1170.

思春期の子供を持つ親への援助を考える：天賀谷隆、12, 1177.

ターミナル期における患者家族ケアについて——事例を通して：梶原多久美、12, 1187.

家族の肖像——家族からの情報に盲点はないか：石井享子、12, 1195.

家族が見た痴呆老人とそれを取り巻く現状：木村松夫、12, 1200.

◎特別論考・特別記事

地域に密着した良質のホームケア・サービスを求めて——米国ミネソタ州ラムゼイ郡公衆衛生看護スーパーバイザー，ピーダセンさんに聞く：〈通訳〉木下康仁・〈聞き手〉本誌編集室、1, 58.

〈海外レポート〉第2回アジア太平洋地域看護婦会議に参加して：西浦キヌエ、2, 169.

鹿児島大学医学部附属病院における看護情報システム構築の取り組み：橋本綾子・坂口トシ子・今井洋子・神前喜代子・宇都由美子・赤松名和子、3, 268.

「5年前，私たち夫婦が会社を設立した時，現在の姿を予測した人はいませんでした」——米国テキサス州サンアントニオ市で在宅ケアサービス会社を営むアン・ハーディーさんに聞く：[話し手]Ann W. Hardee, [聞き手]本誌編集室、4, 364.

“SENSE of HUMOR”が看護を変える：Jean P.Ruxton, 訳・大西和子、5, 474.

フィンランド訪問印象記：辻和男、5, 480.

看護婦等学校養成所教育課程の改正について：青木康子、6, 583.

事例検討の原点としての“申し送り”を問う：外口玉子、7, 684.

〈海外レポート〉ニューヨークのナーシングホームから——最近の話題：吉田冬子、7, 692.

ICN in SEOUL：井部俊子、9, 895.

ICN ソウル大会のインパクト：三木喜美子、9, 899.
ソウルで見た世界の看護：平木民子・高橋里美・伊藤賢子・安倍香・公文貴子・塩田佳月・森上夕子、10, 994.

ヨーロッパ・ホスピス視察旅行——7つのホスピス見て歩き：伊豫朝子、12, 1212.

◎ベッドサイドの看護

看護者に恋愛感情を持った患者とのかかわりを振り返って：樋口能視、1, 69.

末期癌患者の看護——病名を知らされた患者家族へのかかわり：渡辺みどり、4, 377.

末期癌患者へのアプローチ——褥瘡予防の工夫を通して：宮嶋洋子、4, 380.

予後の告知を受けず死を受容した進行性鼻壊疽患者の看護：印部厚子・加藤由美子，5，485。
死に臨む人の心を探る：小川真理・玉井文・藤原かおり・坂本佳，8，787。
看護ケアとしての間歇的高カロリー輸液を考える——末期患者の一症例を通して：茂雅美・広瀬育子・松田恵子・坂田加代子・中村卓子，11，1103。

●学生の広場

看護婦が燃えつき症候群に陥らないために——公立病院でのアンケート調査を通して：栗原ひとみ・島田美子・香月まゆみ・針茂加代・増本美奈子・百崎智子・松尾光恵，2，160。
看護学生の精神障害者に対するイメージとその関連要因について：鶴田恭子，3，273。
老人の体温測定法の検討——腋窩と腹部（おむつ内）検温の検証：吉田通代・相原広子・矢野智子・川人渉・森本二三子・渡辺日出美，4，369。
人間にとって「食べる」とは——「食」に関する一考察：片岡元子，4，373。
褥瘡に行なう効果的な保健指導を考える——理解度と疲労度，苦痛度からの検討：塚田弘美，8，792。
老年アレルギー性肺炎患者およびその家族とのかかわり：三浦理恵，9，889。
ベッド上生活患者のシーツの汚染度——細菌学的検討：遠藤真由美・高峰道子，10，981。
看護衣の交換と汚染度の実態：石川美恵・高峰道子，10，988。

●研究と報告

癌患者に対する告知の現状——化学療法施行時の患者の病識および関病意欲の分析：岩垂まゆみ・沢村のり子・尾原智穂・井上征子，1，64。
腎移植を受けた患児の排尿の自立に向けて：中込律子・秋山栄・西沢理，6，578。
アセスメントの意義をふまえた入院時看護歴の検討：大川智恵子・今福美紀・関根ゆみ子・前田直美・馬場真樹子・横田智子・福永美奈子，7，672。
CMI健康調査表による情報収集と看護評価：増田利子・正田恵子・井上恒子・佐々木美保，7，678。
特別養護老人ホームにおける看護婦と寮母の業務領域と看護職への提言：松尾光恵，8，783。
眼科における院内事故の予防と対策——入院患者のベッドからの転落事故の分析：床井雪江，11，1098。

●症状の起こるメカニズム：橋本信也・西山悦子

発熱，1，4。
倦怠感，2，108。
肥満，3，212。
やせ，4，316。
食欲不振，5，420。
浮腫，6，524。
リンパ節腫脹，7，628。

意識障害，8，732。
運動麻痺，9，844。
けいれん，10，940。
頭痛，11，1044。
めまい，12，1148。

●ケーススタディ——ナースのための心理的アプローチ

「患者は何も知らなくていいんです」：保坂隆・大塚マ・菅原やい，1，10。
「どうせ誰も信じてくれないのだから……」——痙攣様意識消失発作を呈したYさんの〈抑圧〉：黒木宣夫・柴田俊子・後藤由美，2，114。
「どうせ看護婦さんが治してくれるわけでもないし」——通院中症状が悪化したWさんの〈怒り〉：保坂隆・安岡キミ・志岐サキ子，3，218。
「二重人格？それとも……」——頭部外傷後のMさんの〈通過症候群〉：篠原隆・木村正之・赤穂理恵・嶋津千鶴子・種市いね子・垣内真理，4，322。
「これでも癌患者に見えるかい？」——癌の告知を受けたKさんの〈否認〉：保坂隆・一之瀬京子，5，426。
「おしっこでちゃった」と大声で泣くHちゃん——母子分離・長期入院による〈退行〉：松田文雄・黒光美紀子・石橋富美子，6，530。
「わたしは母親失格なんじゃないか」——〈マタニティブルー〉に陥ったSさん：春日武彦・春日日登美，7，634。
「虫がいっぱい部屋中を飛び回っている……」——アルコール依存による〈幻覚〉：川島美寿寿・守屋裕文・久松久美子・村上静子，8，738。
病室をトイレと間違えた——仮性痴呆に見えたKさんの〈意識混濁〉：大滝紀宏・月山栄治・比気ますみ，9，850。
「病棟のルールなんて誰が決めたのよ」——病棟スタッフを混乱させた〈境界例〉のMさん：保坂隆・長谷川よし子，10，946。
「待つってことがどんなことか分かるか」——怒鳴りながら自己退院したAさんの〈A型行動パターン〉：保坂隆・脇園恭子，11，1050。
「人の足を何だと思ってるの、私の足を返してよ！」——事故で片足を切断したTさんの〈対象喪失〉：渡辺俊之・保坂隆・篠塚みち子・筒木輝子・斎藤久美子，12，1154。

●NURSING THEORY——看護理論ってなあに？

『オレム看護理論（第2版）』を読む〔2〕——セルフケア理論とセルフケア不足理論：小野寺杜紀，1，80。
『オレム看護理論（第2版）』を読む〔3〕——看護エージェンシーと看護システム：小野寺杜紀，2，184。
『キング看護理論』を読む〔1〕——『看護の理論化』から『看護理論』への軌跡：舟島なをみ，3，288。
『キング看護理論』を読む〔2〕——「力動的相互行為システム」とは？：舟島なをみ，4，392。

『キング看護理論』を読む[3]——目標達成理論とは？：舟島なをみ，5，500.
『キング看護理論』を読む[4]——キング看護理論が看護実践に示唆するもの：舟島なをみ，6，604.
『ロイ看護論』を読む[1]——ロイ看護理論の看護に対する見解：松本光子，7，708.
『ロイ看護論』を読む[2]人間観——適応システムとしての人間：影山セツ子，8，812.
『ロイ看護論』を読む[3]——ロイ看護理論による看護過程：大島弓子，9，916.
『ロイ看護論』を読む[4]——成人看護とロイ看護理論：根本多喜子，10，1016.
『ロイ看護論』を読む[5]——老人看護とロイ看護理論：横山美江，11，1122.
『ロイ看護論』を読む[6]——母性看護とロイ看護理論：藤澤洋子，12，1228.

●ワットさんのペーシエントロジ——今、患者が主役の時代：ワット隆子

Mommy, You Should Go, 1，72.
自己中心的な，あまりに自己中心的な，2，176.
一つ釜のめし，3，280.
Motivation, 4，384.
手術後めでたく12年，5，492.
社会音痴，6，596.
職業センス，7，700.
怒りをもって振り返れ，8，804.
Telling or Not Telling[1]，9，908.
Telling or Not Telling[2]，10，1008.
ベネチア乳がん国際会議レポート，11，1114.
私が死ぬ時，12，1220.

●こんな時のカウンセリング：白井幸子

自信のなかったナースがまずしたことは？，4，394.
告げるべきか，黙しているべきか——癌患者太田さんの場合，5，504.
告げるべきか，黙しているべきか[2]——告知に伴うプラスとマイナスの評価，6，608.
父の死——真実率直な対応について，7，712.
父の死から学んだターミナルケアのポイント，8，816.
知子ちゃんと点滴——患児の母親とのコミュニケーション，9，920.
婦長さんの思わぬ反応——心が通い合うには，10，1020.
夜間に看護婦を困らせたおばあちゃん——痴呆性老人への対応，11，1126.
よくあるけれども難しい悩み——同僚と気まづくなった時には，12，1232.

●高齢化社会の福祉と医療を考える：木下康仁

老いと夫婦[2]，1，86.
配偶者のある老人のケア，2，190.

老人のケアと生活史，3，294.
ケアにおける信頼関係とは，4，398.
老人ホームと擬似家族幻想，5，508.
ケアのイニシアチブ——スタッフと家族の関係，6，612.
老人看護学の課題，7，716.
老人看護とナース，8，820.
老いと性[1]——ケアの中の性，9，903.
老いと性[2]——性が夫婦を越える時，10，1024.
老いと性[3]——老女考，11，1130.
ケアのために守るべきもの，12，1236.

●それいけ！フレッシュナース——3階病棟の12か月

緊張の日：藤田梯子，3，300.
勝手な判断と「どうしましょう」：谷端千代美・藤田梯子・西元勝子，4，388.
マニュアル；最低限がいつのまにかベストに：勝田仁美・藤田梯子・西元勝子，5，496.
初めての夜勤は必死：田中英子・藤田梯子・西元勝子，6，600.
「恥ずかしさ」を忘れていませんか：山本絹子・藤田梯子・西元勝子，7，704.
申し送りの必要条件，十分条件：谷端千代美・藤田梯子・西元勝子，8，808.
箸や湯呑みはきれいかな：田中英子・藤田梯子・西元勝子，9，912.
「ちょっと待ってください」を考える：山本絹子・藤田梯子・西元勝子，10，1012.
研究のために許されること：勝田仁美・藤田梯子・西元勝子，11，1118.
ナースコールはなぜ鳴るの：村上智香・藤田梯子・西元勝子，12，1224.

●いたいものつらいのとんでいけ——みつこさんの闘病絵日記：ふくしまみつこ

上手な説得の巻，1，98.
同じ気持ちの巻，2，202.
言葉にならない言葉の巻，3，306.
小さな心配りの巻，4，410.
心のふるりの巻，5，516.
私は傷を持っているの巻，6，620.
恐怖の七五三事件の巻，7，724.
生命力エネルギーの巻[1]，8，828.
生命力エネルギーの巻[2]，9，932.
生命力エネルギーの巻[3]，10，1034.
トホホな体験の巻，11，1138.
あけぼのヤング決起集会の巻，12，1244.

●死の淵からの生還——心筋梗塞患者の手記：林三夫

救急車，早く!!，7，720.
長い一日，8，824.
好奇心が命を救う，9，924.

社会生活に向かって、10, 1028.
術後2か月、再狭窄していた左冠状動脈、11, 1134.
彼岸へ——蘇生 そしてICUへ、12, 1240.

●カルタ・デ・ミューキータ——コロンビア医療協力レポート：藤原美幸

モデル地区が決まるまで、1, 94.
地域診断のための調査、2, 198.
保健プロモーターに同行して、3, 302.
異国に住むと、4, 402.
2人のオルガ——よく働き、社会的地位も高いコロンビアの看護婦、5, 512.
ウラバの女性と子供たち、6, 616.

●水引き草の詩——ある看護教師の闘病記：藤原幸江

病床不安、1, 76.
闘病雑感、2, 180.
聞いてください看護婦さん、3, 284.

●ナースのための情報学ABC：辻和男

情報学と判断学、1, 82.
看護情報学とその周辺領域、2, 186.
看護情報学の将来、3, 290.

●思い出すけっち——あの人あの時あの言葉

人と人との結びつきを教えてくださいAさん：近藤洋子、1, 22.
思いがけなかった「ありがとう」：斉藤みよ子、2, 126.
うけとめられなかった少年の心：岸田智恵子、3, 230.
わがままは自分らしさの主張：伊地知淑子、4, 334.
言葉にとらわれてみえなかった本当の気持ち：木村千春、5, 438.
片面だけのテープをのこして：猪熊京子、6, 542.
しなやかな感性の大切さを教えてくださいTさん：富野多津子、7, 646.
キラキラと光っていた先輩の後ろ姿：国分アイ、8, 750.
ふるさとの農村を思う：花田ミキ、9, 854.
患者の身になって考えることの難しさ：温井みさ、10, 958.
誠実より強いものはない：久松シソノ、11, 1062.
歴史を振り返る中で生きざまを問い直す：高橋政子、12, 1210.

●グラフ

21世紀に向けて、社会福祉のスペシャリストに——「介護福祉士」をめざす鹿児島城西高校社会福祉科、1, 14.
ディスポの一生を知っていますか——工場から焼却炉まで、2, 118.
看護はベッドサイドで情報はオンラインで——鹿児島

大学医学部附属病院の看護システム、3, 222.
ここまできた看護研究——千葉大学看護学部看護実践研究指導センターの研究活動から、4, 326.
フィンランド見たまま——辻和男先生、医療技術視察の旅、5, 430.
失禁看護を手土産に帰国した西村かおるさんの東奔西走、6, 534.
おとしよりといっしょ——聖マリアンナ医科大学病院の痴呆性老人デイケア研修、6, 538.
病棟演習を組み入れて「申し送り」を見直す——長崎で開かれた第9回精神科看護事例検討会での試み、7, 638.
一人はみんなのために！みんなは一人のために！——理学療法課が変えた大東市の地域リハビリ、8, 742.
「自立と連帯」の場として——神戸市にオープンした総合福祉ゾーン「しあわせの村」、8, 746.
世界の看護婦7千名が集った第19回ICN大会、ソウル市で開催、9, 836.
潜在看護職掘り起こしの秘策?!——埼玉県秩父地域で定着した退職保健婦たちによる在宅ケア事業、10, 950.
ワットさんイタリアへ行く——Summer Time in Venice 1989. 7. 9-11 乳がん国際会議レポート、11, 1054.
母は恋人——誌上写真展：木村松夫、12, 1158.

●グラフレポート

埼玉県秩父地域で在宅ケアに取り組む退職看護婦たち——ボランティアから地区支部活動への発展の軌跡：石井享子、10, 1001.

●SCOPE

ゆっくりと浸透するデンマークショック——日本での交流を楽しむアンナ・ホルムさんを追う、1, 20.
京都・堀川病院共済会食堂での外来食への取り組み——「家ではとてもこんなに上手に調理できません」2, 124.
ロバのパン屋さんをおぼえていますか——障害者が街で暮らせる拠点づくりを目指して長崎県諫早市にオープン、3, 228.
本誌連載中の藤原美幸さんが一時帰国——国際協力事業団プロジェクトリーダー会議に、民間外交最前線で活躍中の139人が集う、4, 332.
第3回日本がん看護学会——専門看護の学会として着実にその地歩を固めつつある〈日本がん看護学会〉5, 436.
第11回POS研究会、5, 437.
打ちます注射を 守ります健康を——春の選抜高校野球で頑張る甲子園救護室の看護婦さん、7, 644.
お年寄りのための情報発信基地を目指して——埼玉県高齢者総合相談センターの活動、10, 956.
どんな時でも親が安心して働ける保育を——埼玉県北

本市・医療法人群羊会診療所の24時間保育, 11, 1060.

●WORD SCAN

医学判断学：櫻井恒太郎, 1, 24.

MTA (メディカル・テクノロジー・アセスメント)：

櫻井恒太郎, 2, 128.

医療構造学：長谷川利典, 3, 232.

医療政策学：池上直己, 4, 336.

医療人類学：郡司篤晃, 5, 440.

歯科心身症：内田安信, 6, 544.

BOAI 法：高野敦, 7, 648.

体外循環光化学療法——フォトフェーシス：二見玄次郎・山口一成・中満三容子・福岡直美, 8, 752.

パストラル・ケア：永田希和子, 9, 856.

廃用症候群 (disuse syndrome)：笠井美智子, 10, 960.

季節性うつ病 (季節性感情障害)：高橋清久, 11, 1064.

メディコポリス：川上武, 12, 1168.

●PROFILE

〈塩田さきの〉91歳！現役で平和活動に取り組む, 「あけぼの会」の名付け親「若い会員さんの手助けができればと思っています」, 1, 71.

〈板井八重子〉水俣にかかわり続けて15年, 病院の新たなステップに挑む医師「水俣での経験を整理し普遍化していきたいと思っています」, 2, 175.

〈鈴木美恵子〉中国の看護研究論文振興のために自費で奨励金制度を設立「熱心な中国の看護婦を励ましたいということなのです」, 3, 279.

〈ジーン・ラクストン〉がん患者看護にユーモアの効果を取り入れるベテランナース「日米ナースの Sense of Humor 度も比較調査しています」, 4, 409.

〈久松シノノ〉長崎での原子爆弾投下時の惨状を語り継ぐ「生き残ったということは、まだ責任があるということです」, 5, 503.

〈徳川早知子〉教育指導に携わりながら看護研究を続ける「先人を研究することは自分や若い人たちの力になります」, 6, 591.

〈木原陽子〉「コミュニティ・ナーシング・ケア・プランニング」の代表「街でケアを必要としている人たちのために」, 7, 697.

〈山本和儀〉地域リハビリの向上を進める大東市福祉事務所の理学療法課長「リハビリ訓練は誰にもできるしできなくてはならないのです」, 8, 801.

〈リア・ケネア〉プライマリナーシングを研究するエチオピアからの留学生「日本での経験をいかに生かすかが今後の課題です」, 9, 907.

〈キャスリン・B・カーニィ〉在日外国人看護婦協会会長「ナースという職業は Self-Reliant. 他人に依存する甘えがあっては続かない」, 10, 1007.

〈上原麗子〉24時間保にに取り組む南福音診療所婦長「子

供が好きだから続けてこれたんでしょう」, 11, 1113.

〈田中光三〉スウェーデンの慢性疾患病院で老人看護を行なう看護師「人生の巡り合わせで、いつの間にか看護の世界に」, 12, 1219.

●BOOK REVIEW

看護観察と判断(川島みどり著)：雨宮久子, 1, 90.
日本人のこころの病い(吉川武彦著)：中村元子, 1, 91.

新刊紹介／「モンブランに立つ」「日本におけるホスピスの現状と展望」「性の崩壊」, 1, 92.

娘からの宿題(長尾クニ子著)：石井トク, 2, 194.

自立のための援助論(久保紘章著)：石川中子, 2, 195.

知的エリートのためのザ・ダイエットマニュアル(大野誠著)：岡田育代, 2, 196.

人と場をつなぐケア(外口玉子著)：佐藤登美, 3, 298.

患者の訴え—その聴き方と応え方(A.Jann Davis 著, 神郡博・正田美智子監訳)：須藤勲子, 3, 299.

ホスピスケアのデザイン(季羽倭文子監修, ホスピスケア研究会編)：鈴木智子, 4, 406.

新刊紹介／「看護現任教育」「いのち燃えつきるまで」「生きがい療法でガンに克つ」, 4, 407.

バイオエシックス(フォーラム実行委員会編)：小川圭子, 6, 593.

看護現任教育(川島みどり・杉野元子・西元勝子著)：賀川康子, 8, 798.

ダイヤモンドダスト(南木佳士著)：小笠原望, 8, 799.

消化器内視鏡ハンドブック第2版(林貴雄著)：前川和子, 9, 928.

老人ケアの社会学(木下康仁著)：高崎絹子, 9, 929.

フォト・ドキュメント 母は恋人(木村松夫著)：長谷川美津子, 9, 930.

事例に学ぶICU・CCUの看護(加藤万利子編)：白石裕子, 10, 1032.

高齢者・障害者の住まいの改造とくふう 新築からリフォームまで(野村欽著)：窪田静, 11, 1140.

メノポウズナチュラリー のびのび更年期(サジャ・グリーウッド著, 加地永都子・根岸悦子訳)：溝口満子, 11, 1141.

●TOPICS

日本生命倫理学会と生命倫理研究会が発足, 3, 267.
「ガン末期医療に関するケアのマニュアル」を紹介します：柿川房子, 11, 1109.

京都で世界集中治療医学会〈看護セッション〉——ICUを中心に12か国のナースが参加：上泉和子, 12, 1164.

●言いたいフォーラム

リハビリテーション世界会議のボランティアとして：

田山裕子・牛久保美津子，1，100.

「クンちゃんの死」に我が身を思う：富永昌代，1，101.

医療者に求められること：中川裕子，1，102.

患者さんにとって「いい看護」とは：浅田昌古，1，102.

看護ロボットからの脱出：鈴木保，2，204.

「患者が耐えねばならぬもの」に挑もう：徳竹秀子，2，204.

広い分野にわたる編集に期待します：松尾博美，2，205.

「ミスなし」看護を目指して：園山双葉，2，206.

看護婦生活 25 年目に思う：田中鶴子，2，206.

A さんはおびえているのでは：牧野公恵，3，308.

「なぜするか」を知らないのは危険：高橋祐子，3，308.

氷山の一角：松尾博美，3，309.

ライセンスより「優れた技術」が大事：宮下豊，3，309.

友・看護・雑感：竹内綾子，3，310.

一人ひとりを大切に考えること：牧野公恵，4，412.

看護の社会復帰：広田千鶴，4，412.

自分の死の終わりは自分で選択を：内山早苗，4，413.

“やさしさ”って何だろう？：小西恵子，4，414.

看護にとっての大学教育——私の場合：服部ゆり子，5，518.

温かかった手：野中由美，5，518.

“大事にする心”を具体的に：山本和子，6，622.

看護婦は心の治療も考えて：園梅子，6，622.

「生命」について考えるべき時：秋元美砂子，7，726.

お別れ紙芝居：池知智津子，7，726.

不満と不安の日々：田崎美子，7，727.

「信頼関係」を見直す：小西恵子，8，830.

若い看護者を大切に：鈴木保，8，830.

がんばれ「それいけ！フレッシュナース」：服部ゆり子，8，831.

ニューリーダーに望むこと：長島衛，9，934.

老年患者さんの看護は難しい：上田知子，9，934.

小諸厚生総合病院の広報活動——様々な形の広報紙：小林元一，10，1036.

心の忘れもの：野中由里，11，1142.

「失禁看護」認識不足を痛感：山本和子，11，1142.

クラス会幹事 M さんへの手紙：高梨輝子，11，1143.

「明日も生きられる？」：本條キヨ子，12，1246.

筋ジスの子供たちに出会えて：真保佳代子，12，1246.

看護職として地球環境の保護に関心を：野村光子，12，1247.

●われらカンゴ族

姉・土井恵子さん，弟・大森紀夫さん，兄・岡田善導さん，妹・小百合さん，1，1.

母・近藤洋子さん，娘・直美さん，2，105.

母・河原えい子さん，娘・宣子さん，3，209.

母・諸橋テルさん，娘・由美子さん，宏子さん，4，313.

母・藤崎淑子さん，息子・博文さん，5，417.

夫・濱上末男さん，妻・通子さん，6，521.

父・西村俊彦さん，母・絹江さん，息子・武彦さん，7，625.

夫・中沢高見さん，妻・栄子さん，8，729.

母・井部ソデさん，娘・俊子さん，9，833.

母・上原麗子さん，娘・空子さん，祖母・三浦ミツさん，10，937.

姉・高山美津子さん，妹・美智子さん，11，1041.

母・加藤弘子さん，娘・裕子さん，母・桑原アイさん，娘・朋子さん，12，1145.

おまちどうさまでした POSをナースに

中木高夫 著

滋賀医科大学・内科学第2講座

構想8年？いや9年？著者ですら忘れてしまった昔，本書の原案は生まれた。以来、『看護学雑誌』にもその一部が掲載され，数多くの読者がその完成を待ち望んでいた看護界待望の話題作，ついに完成！

B5判・212ページ・定価¥2,472(税込)医学書院

図3 これがPOSだ

本書 35p. より

